

平成 20 年度第 2 回自動車整備技能登録試験〔学科(口述)試験〕

第 78 回〔一級小型自動車〕

平成 21 年 5 月 10 日

12 問 題 用 紙

〔注意事項〕

1. 試験は問題 1 と問題 2 があり、試験時間はそれぞれ 5 分です。問題 1 が 5 分以内に終了した場合、試験開始後 5 分のブザー吹鳴まで問題 2 には進めません。
2. 試験開始のブザー吹鳴と同時に試験時間がカウントされるので、入室後は速やかに氏名(フルネーム)を申し出て、問題 1 に進みなさい。
3. 試験中、試験委員に対して受験者としてふさわしくない言葉づかい・態度があった場合は、減点の対象となります。
4. 試験終了後は、この問題用紙を持ち帰りなさい。

問題 1. スズキ氏は、「走行中にハンドルが振動する」という修理を依頼するため、自動車に乗って整備工場を訪れた。下記の情報をもとに、依頼に関する「問診」を実施しなさい。

なお、問診後、試験委員が点検方法などについて質問するので答えなさい。

〔自動車に関する情報〕

初度登録	平成 16 年 7 月
エンジン	電子制御式ガソリン・エンジン
総排気量	1.2ℓ
駆動方式	前輪駆動
トランスミッション	オートマチック・トランスミッション
パワー・ステアリング方式	車速感応式電動パワー・ステアリング
パワー・ステアリング・ギヤ	ラック・ピニオン式
年間走行距離	約 13,000 km
総走行距離	66,123 km
その他	① 1週間前、それまで装着していたタイヤ4本を、自分で別のホイール付きタイヤに交換した。 ② そのタイヤとホイールは、標準のものと同じサイズである。 ③ タイヤの空気圧は、規定値である。 ④ ホイールの取り付け状態には、問題ない。

メモ欄

問題 2. ヤマダ氏から、「エンジン・ルームから、時々、キュルキュル音が発生する」という故障の修理依頼と、自動車購入後6年目の「1年定期点検整備」及び「日常点検整備」の依頼があり、必要な点検整備作業を行った。

1. 試験委員の指示に従って点検整備記録簿の情報をもとに、次の(1)~(2)の順序で説明しなさい。

- | |
|------------------------------------|
| (1) 依頼された故障の状態, 修理内容及び修理後の確認結果について |
| (2) 点検整備記録簿の次の項目について |
| ① 交換した項目 |
| ② 調整又は測定の数値のある項目 |

2. 上記「1.(1)~(2)」の説明終了後、試験委員が「エンジン・オイルの役割」について質問するので、二つ答えなさい。

(回答例：○○作用。)

(回答例：○○を滑らかにする。)

(回答例：○○を防止する。)

等

なお、試験の都合上、

- ① 点検整備記録簿、交換部品を試験委員に向けて説明する必要はない。
- ② 点検整備記録簿には必要事項を書き込んでもよい。
- ③ 整備保証の適用及び整備料金の説明は行わなくてよい。

〔情報〕

1. 自動車に関する情報

初度登録	平成15年5月
区分	自家用乗用自動車
エンジン	電子制御式ガソリン・エンジン
総排気量	2.5ℓ
駆動方式	後輪駆動
年間走行距離	約15,000 km
総走行距離	90,511 km

2. 点検整備作業等

- (1) 「エンジン・ルームから、時々、キュルキュル音が発生する」という故障の修理と1年定期点検整備及び日常点検整備を実施した。(作業内容は点検整備記録簿のとおり)
- (2) エンジン・オイルとオイル・フィルタはヤマダ氏の依頼により交換した。
- (3) 部品交換は、ヤマダ氏に連絡して了承を得てから行った。

分解整備記録簿(1年定期点検用点検整備記録簿写)

点検の結果及び整備の概要

(☆は1年、5,000km以下の走行距離によって省略できる項目)

点検 良好	良	交換	交	調整	調	清掃	清	省略	省
分解	分	修理	修	締付	締	給油 (水)	給	該当 なし	/

使用者の氏名又は名称 ヤマダ	自動車登録番号又は車両番号又は 車台番号 省略
住所 省略	点検(整備)時の総走行距離 90,511 km

エンジン・ルーム点検

■パワー・ステアリング
ベルトの緩み(損傷) 良 調 交
パワー・ステアリング・ベルト

■冷却装置
ファン・ベルトの緩み(損傷) 良 調 交
冷却水の漏れ 良 修
サーペンタイン(1本掛け)
室内点検

■ブレーキ・ペダル
遊び 良 調
踏み込んだときの床板との
すき間 良 調
ブレーキの効き具合 良 調
ブレーキ・ペダル

■点火装置
スターク・プラグの状態
(白金ワウ、ワウワウは点検者略可) 良 交
点火時期 良 調
ディストリビュータのキャップ
の状態 良 交
スターク・プラグ

■バッテリー
ターミナル部の緩み、腐食 良 修
バッテリー

■エンジン
排気ガスの色 良 調
CO、HCの濃度 良 調
エア・クリーナ・エレメントの
汚れ、詰まり、損傷 良 清 交
エア・クリーナ・
エレメント

足廻り点検

■ディスク・ブレーキ 良 調
☆ ディスクとパッドとのすき間 良 調
☆ ブレーキ・パッドの摩耗 良 交
ブレーキ・パッド

■ホイール 170→200kPa
☆ タイヤの空気圧 良 調
☆ タイヤの亀裂・損傷 良 交
☆ タイヤの溝の深さ、異常摩耗 良 交
スベア・タイヤの空気圧 良 調
☆ ナット、ボルトの緩み 良 締
310→420kPa

■ブレーキ・ドラム 良 調
☆ ドラムとライニングとのすき間 良 調
☆ ブレーキ・シューの摺動部分、
ライニングの摩耗 良 交
ブレーキ・ドラム

■ブレーキ・マスタ・シリンダ、ホイール・
シリンダ、ディスク・キャリパ 良 交
マスタ・シリンダの液漏れ 良 交
ホイール・シリンダの液漏れ 良 交
ディスク・キャリパの液漏れ 良 交
マスタ・シリンダ
ディスク・キャリパ
ホイール・シリンダ

下廻り点検

■トランスミッション、トランスファ 良 修
☆ オイルの漏れ 良 修
☆ オイルの量 良 給
トランスミッション

■エンジン・オイル 良 修
漏れ 良 修

■ブレーキ・ホース、パイプ 良 交
漏れ、損傷、取付状態 良 交

■エキゾースト・パイプ、マフラ 良 締 交
☆ 取付けの緩み、損傷、腐食 良 締 交
☆ 遠熱版の取付けの緩み、
損傷、腐食 良 締
エキゾースト・パイプ
マフラ

■プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフト 良 締
☆ 連結部の緩み 良 締
プロペラ・シャフト
ドライブ・シャフト

日常点検

ブレーキ液の量 良 給
バッテリー液の量 良 給
冷却水の量 良 給
エンジン・オイルの量 良 給 交
エンジンのかかり具合、異音 良 修
低速加速の状態 良 調
ヘッドランプ(ストップ・ランプ
ウィンカ・ランプ等の点灯)、
汚れ、損傷 右ストップ・ランプ・バルブ 良 交
ウインド・ウォッシュ液の量 良 給
ウインド・ウォッシュの噴射状態 良 調
ワイパの拭き取り状態 良 交

厳しい使われ方をした場合の
メーカーの指定する点検

■ステアリング装置 良 締
ステアリング・ギヤ・ボックス
の取付けの緩み 良 締
ロッド、アーム類のボールジョイント
のダスト・ブーツの亀裂、損傷 良 交

■ブレーキ装置 良 交
ブレーキ・ディスクの摩耗、損傷 良 交
ブレーキ・ドラムの摩耗、損傷 良 交

■サスペンション、動力伝達装置等 良 締
サスペンションの取付部、連結
部の緩みがた、損傷 良 交
ドライブ・シャフトのユニバーサル
・ジョイント部のダスト・ブーツ
部の亀裂、損傷 良 交
燃料漏れ 良 交

その他の点検項目等

ファン・ベルトが損傷した結果、
ベルトの張力が弱まり「キュル
キュル」音が発生していた。
ベルトを交換し、張力が正常
であることを確認した。
その後試運転を実施し、異
常な音が発生しないことを確
認した。

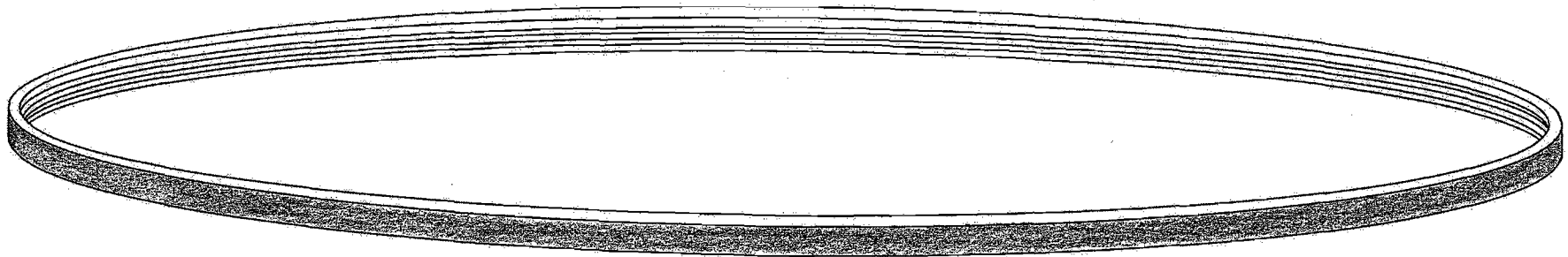
交換部品等	数量
エンジン・オイル	5.4 ℓ
オイル・フィルタ	1
エア・クリーナ・エレメント	1
ファン・ベルト	1
(サーペンタイン)	
ストップ・ランプ・バルブ	1

メンテナンスに関するアドバイス

●CO、HC濃度 (アイドリング時)	●タイヤの溝の深さ (1.6mm以上)	前輪 左 6.0 mm 右 6.0 mm 後輪 左 7.0 mm 右 7.0 mm	事業場名、所在地、認証番号 省略	点検年月日 平成21年5月10日	次回点検年月日 平成22年5月 日
CO 省略 % HC 省略 ppm	●ブレーキ・パッド、 ライニングの厚さ	前輪 左 省略 mm 右 省略 mm 後輪 左 省略 mm 右 省略 mm		整備完了年月日 平成21年5月10日	整備主任者の氏名 省略

問題2 交換部品等

- ファン・ベルト (サーペンタイン)



- エンジン・オイル
(図は省略)

- エア・クリーナ・エレメント
(図は省略)

- オイル・フィルタ
(図は省略)

- ストップ・ランプ・バルブ
(図は省略)